

まちにとびだせ!

# 東大阪 いっとMAP



## えべっさんの街 布施商店街周辺

～ 街道が交差するまち～

布施駅前には江戸時代、お伊勢参りで賑わった暗峠奈良街道が通り深江・足代の菅笠を売る店や茶店が立ち並んでいました。南北を通る放出から生野区翼を経て平野に通じる放出街道(剣街道)、八尾の十三峠を経て奈良の竜田に通じている十三街道が交差する交通の要所でした。現在も近鉄奈良線・大阪線の分岐場所としてさかえ、大正時代から続いているこだわりの逸品のお店が数多いえべっさんの街、一度歩いてみませんか。



**① 深江郷土資料館・人間国宝 角谷一圭記念館**  
平成22年7月開館。地元の人たちによって建設・運営。角谷一圭さんは昭和53年に茶の湯釜の製作者として人間国宝に指定されました。伊勢神宮の遷宮時、自銅鏡を奉納されています。資料館には角谷さんの作品と菅笠に関する資料が展示され、敷地の一角に菅が栽培されています。土日祝のみ開館 開館時間9時30分～12時 14時～16時30分  
TEL 06-6977-5555

**② 深江稲荷神社**  
深江村の氏神。祭神は稲荷大神、笠縫大神、鏡作大神です。鳥居の横に「深江菅笠ゆかりの地」「史跡 摂津笠縫邑跡」の碑が立っています。上古大和国笠縫邑(現田原本町)に居た笠縫氏族が、菅の生えていたこの地に移り住み、代々菅笠を作るのを職業としてきました。伊勢神宮式年遷宮の大嘗会には菅製品を献上されています。鋳物御祖神社まつられ、深江だけでなく東大阪市の高井田、足代からの参拝もありました。

**③ 法明寺**  
融通大念仏宗中興の祖といわれている法明上人は、弘安2年(1279)深江に生まれ、出家し真言の秘法、天台の教義を学び、融通大念仏宗も修めて、この地に草庵を建てたのが法明寺の起こりです。上人は71歳で逝去され東大阪市にある上人の御廟は東大阪市の指定文化財・史跡に指定されています。

**④ 道案内地蔵**  
堤坊状に旧街道が少し高くなるところに建てられている地蔵堂の場所はかつて法明寺の山門があったところで北へ寺に道が通じており、地蔵さんは人々を寺へ案内したりお迎えしたりする役目をしていました。

**⑤ 西高井田如意輪観音石仏**  
お堂内にまつられている像高70cm、頭に宝冠をかぶり、片膝を立てやや首をかしげながらほお杖をつきほほえみを浮かべる観音さまは、昭和2年(1765)に念唱寺の住職によって南側を通る暗峠奈良街道の一里塚横にまつられていたものを府道の新設によりこの地に移設されました。

**⑥ 念唱寺・聖源寺ゆかりの碑**  
融通念仏宗、記録によれば寛文8年(1668)に毘沙門堂が建立されたことが記されています。高さ2.3mの碑は側面に「享保十二丁未正月吉辰 河州澁川郡 東足代村聖源寺」と刻まれています。この碑は「クリアホール・ふせ」の南西にあった聖源寺に建てられていたものです。聖源寺は明治5年に廃寺となりました。

**⑦ 足代だんじり小屋**  
ガラス張りの保存庫に展示されている足代だんじりは平成12年に新調された3代目で、だんじりの彫刻は大江山の鬼退治の物語が描かれています。

**⑧ 足代安産地蔵**  
永禄5年(1562)室町時代末期のすぐれた地蔵菩薩石仏です。聖源寺ゆかりの石仏といわれ昭和5年にこの地に移設されました。市指定文化財です。

**⑨ 塩川家**  
塩川家邸内の柳井は紀州粉河寺の観音が童男に化身し掘った井戸と伝えられています。塩川家の長屋門は昭和34年に豊中市の服部緑地の民家集落博物館に移設され入場門として使われています。

**⑩ 布施戎神社**  
西宮戎神社から昭和29年に分祀された戎大神を祀っています。境内には近年鑄造された大きな戎像がみられます。1月9・10・11日のえべっさんは商売繁盛で大賑わい。大正3年までこの地に都留弥神社のあったことを伝える石碑があります。

**⑪ 街の駅クリアホール・ふせ**  
地域の人たちが気軽に交流できるコミュニケーションの場・イベントにも活用できるまちづくり発信拠点施設として布施商店街事業協同組合が設置・運営している施設です。